



Let's talk together!

メンタル通信

発行：社会福祉法人長岡メンタルヘルス協会
〒940-2033 長岡市上除町甲105-22
TEL・FAX 0258-46-3116

(令和2年3月発行)



写真：コスモス 休日開所（くるみボタンで缶バッジを作りました！）

～目次～

- P2. 予想外のできごと
- P3. メンタルヘルス協会
- P4. グループホーム上除寮・虹・与板寮 活動報告
- P6. 創造工房コスモス 活動報告 あとがき





予想外のできごと

新型コロナウイルスが猛威を振るい、新潟県内でも感染がひろがりつつある。オリンピックも延期という事態がおこり、世界中で大混乱となっている。皆さまはお変わりなくお過ごしでしょうか。

そんな話題の中、今月16日、2016年7月に「津久井やまゆり園」で重度障がい者19人を殺害し、職員2名を含む26人に重軽傷を負わせたとして、殺人などの罪に問われていた植松被告に対する判決公判が下された。「今回の犯行の結果は他の事例と比較できないほど甚だしく重大だ。酌量の余地は全くない」として求刑通り死刑判決がでた。

生きることの価値とは何か。被告が園で働く中で、激しい行動をとる障がい者や重度の障がい者とコミュニケーションをとるのが難しく、給料も安く、何のために働いているのか分からなくなったそうだ。また同僚が障がい者を人間として扱っていないと感じ、重度障がい者は家族や周囲を不幸にすると考えるようになる。その考えは「他人の金や時間を奪う重度障がい者はいない方がいい」とまで至り、次第に「殺す」と決意を固めたと証言していた。

15年ほど前、グループホーム虹の建設地で、住民説明会をした際「そんな施設があると怖くて食卓での会話がかわる」「病院にずっといればいい」「鉄格子の中にいる人」「何かあったら責任とれるか」と住民の猛反対にあった。その地を諦めざるを得なかったが怒りと哀しみで体が震えたことを今でも覚えている。「いない方がいいから殺す」という被告の考え方はとても信じられない。しかし「何ができないとダメだ」「効率の悪い人間は価値がない」という社会とどこかつながっていないか。被告を特殊な人間と片付けてしまっているのだろうか。ネットでは被告の言動を賛美する声、支持する投稿すらある。それが怖い。よく言われている「小さな植松」が誰しも蓋をした心の奥底に潜んでいるとしたら恐ろしい。

また被害者を呼ぶ甲、乙、A、Bという響きは違和感があり、つらいものがある。匿名制度は県警が「本人の不利益を回避する」との名目を取り入れ、それを横浜地裁も踏襲したとのこと。名前を明かせないという現実の生々しさがある。差別を問うはずの裁判だったのではないか。被害者家族は彼という人間を解体することが何一つできなかったと語っていた。特殊な非情な人間の事件として、死刑判決ですべてが終わったと片付けてほしくないと思う。

私事、先日愛猫の小太郎が死んだ。弱っていた子猫を引き取って半年。やんちゃで甘えん坊で可愛くて。今は一緒に楽しい時を過ごせたことにありがとうと感謝している。そしてどんな命にも限りある事も改めて教えてくれた。大切に生きよう。小太郎が確かに生きていたことを忘れない。私にとって予想していなかったできごとだった。

山崎 芳子





長岡メンタルヘルス協会

お悔やみ

虹寮 穂刈 正躬さん

1月19日 永眠されました。

グループホーム上除寮・虹・与板寮

グループホーム上除寮（長岡市上除町字野田甲 105-22 ☎46-3116）

グループホーム虹（長岡市脇野町 1514 番地 ☎42-4299）

グループホーム与板寮（長岡市与板町与板乙 5958-1 ☎72-3900）

『今になってゆえること』 ひぐちまさや
ぼくが病気になって20年以上たった。
昔の悠久荘時代からのことだ。
あのころは本当に100%病気だった!!
今みたいに人と話したり、人の中にとけこむのが大の苦手!!
今思えば病気がそれだけ重かったんだなあと思う。
服部さんはぼくが子どものころ昔の
児童病棟からの付き合いで、本当に世話になった。
又、山崎さんはケースワーカーのころよく話をした。
昔、病気がちだったぼくは、幻聴とゆう原因不明の病気があ
まりにもひどすぎて、とても苦しんだし、
自殺も何回も考えてた。
今、思えば、長岡に自立した移行はグループホームの
上除寮に入って本当に良かったと思った。
今はコスモスに通ったり、実習先のしおのり壮でがんばって
いるけど、本当に波瀾万丈だった!!。
いろいろなことがあり、
服部さん、山崎さんを含めたスタッフの方々や親、
寮のメンバーさんに大変迷惑をかけた!!
今は病気がほぼ安定してきてて、今こそゆえるけど、
本当にぼくにかかわってきた人、お世話になっている方々に
心からありがとうとゆいたい!!
本当にみなさんのおかげです。
本当に感謝の言葉でいっぱいです。
2020年もみなさんよろしくおねがいします





<上除寮 2月25日(火) 喜芳温泉にて食事会>
車の中でわいわい言いながら楽しく行き、ゆっくり温泉に入れていい気分で、おいしいお昼ごはんをみんなと楽しくおしゃべりしながら食べていたら、あっという間に時間がたってたのしかったので、またみんなと行きたいなあーと思います。

(小野塚 吉二さん)

喜芳はきれいでいい。風呂も良かった。
料理もおいしかった。また、行きたい
(小柳 新六さん)



<グループホーム虹 3月17日(火)
町内クリーン作業&喜芳温泉昼食会>

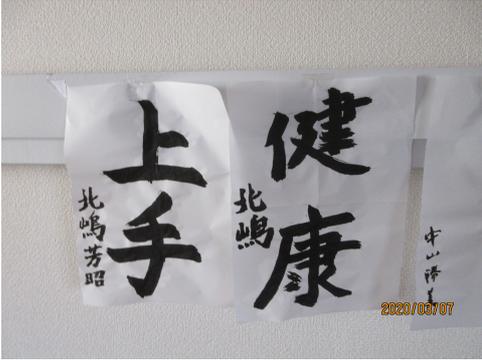
掃除の後の料理はおいしかった。久しぶりの温泉も気持ち良かった。
泡風呂に入ってきた。(真野さん)

ゴミ拾いもちゃんとできた。
喜芳の風呂は、よかった。
また、行きたい。
(丸山 哲也さん)



晴れていてよかった。
ゴミがたくさんあった。大きなビニール袋が落ちていて拾うのが大変だった。ビニール袋は捨てないでもらいたい。
(坂井 信治さん)





〈グループホーム虹〉
 新年に書き初めを行いました！
 皆さんの作品です。



〈与板寮 2月10日(火) 与板寮にて夕食会〉
 予定していた「すたみな太郎」がコロナウィルスの影響で臨時休業になったため、寮で夕食会になりました。

はま寿司のほうが美味しかった。
 3月のすたみな太郎は、だめになったが偶然にも2月にはま寿司に行けてよかった。
 (徳永さん)



すたみな太郎には、行けなかったけど、みんなでお寿司等が食べれてよかった。
 (椎谷さん)





創造工房コスモス

(長岡市与板町与板乙 5954-3 ☎72-2526 FAX 89-6617)

新年会 1月16日

もちつきが楽しかった。お雑煮
ゲーム(めんこ)上手にできました!
カルタは…あまりダメだった。お手つきが多く
ダメだったが、来年はお手つきしないように頑
張りたいです。

(則広さん)



もちが美味しかった
特にきなこもちが美味
しかった。(井上敬さん)



新年会で
カルタ取りとめんこ
をしました!!
白熱した戦いがあり
ました(*'w`*)



節分・恵方巻(2月4日)

豆まきの鬼役をしました。
最後までがんばりました。

(中島 健佑さん)

鬼役をやって楽しかった
恵方巻美味しかった

(上原 雄太さん)



恵方巻、上手に
できました!!

鬼達のスタンバイ OK!!





3月休日開所 (3月14日)
 (くるみボタンで缶バッジ作りと

ホットケーキをりました！！)

缶バッジ作るのが難しかった。絵をかくのができた。お母さんからは上手と褒められた。また、作りたいです。ホットケーキは自分で作り上手にできた。ッホイップクリームや果物上手に乗せることができました。

(山田さん)



くるみボタンの缶
 バッチでは皆さん
 真剣でした！！

3月休日開所 (3月14日)
 (くるみボタンで缶バッジ作りと

ホットケーキをりました！！)

缶バッジ作り良かったです。よくできました！
 ホットケーキも美味しかったです。トッピングも良かった。
 また、こうゆう企画あったらやりたいです。

(佐藤さん)



上手にできて、
 美味しく食べま
 した！！





スポーツデイ 3月19日（与板体育館）

行き帰りの徒歩は近かった。バドミントン楽しかった。
卓球、山田さんとやって難しかったが楽しかった。特にサーブが楽しく、また、ダブルスしたいなあ。
お昼のほっともったのロースカツ丼が美味しかった。
与板体育館にまた行きたいなあ。

（小熊 翼さん）



最初にラジオ体操やジャンケン列車、
色鬼、大縄などをしました！
ヨガ教室も興味深かったです…！！



スポーツデイ 3月19日（与板体育館）

一番良かったのはバドミントンが懐かしかった。バドミントンして上手にできなかった。
バスケットも一人でやった。バスケットボールのシュート届かなかったり、ゴールに入れて良かった。
運動が鈍くなった。年だから、若いころやっているのと違い腰が痛くなる。
昼はのり弁。美味しかったです。

（椎谷さん）

●あとかき●

今年度もいろいろなことがありました。年号が平成から令和に代わり、夏の冷夏、暖冬、今も続く新型コロナウイルスなど上げればきりがありません。そんな中メンタルヘルス協会（GH 除・GH 虹・GH 与板寮・コスモス）では、皆元気に笑顔でそれぞれの夢に向かって日々取り組み、成長している姿がありました。そんな様子も今回の通信に乗せてみました。また、次年度も今年度が増えて成長できるように取り組めることを願っています。令和2年度も様々な情報を発信していきたいと思っております。ご期待ください。

編集委員：佐藤 高頭 杉野

